

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	社会福祉法人川崎愛児園
-----	-------------

取組の名称	こども広場あいあい
実施場所	川崎愛児園 地域交流スペース
対象地域	宮前区馬絹・小台地域および周辺の小学校区
対象地域の特色・課題	<p>川崎市内最多の児童が通う宮崎小学校を擁し、子育て家庭が非常に多く今後も増加が見込まれる地域である。その中には親の精神疾患、生活保護、ひとり親など養育が困難な状況の家庭も潜在的に存在している。新しい集合住宅も多く、地域とのかかわりが薄く子育ての悩みを抱え込んで孤立してしまう親も多いと思われる。共働き家庭を中心として学童保育の利用も多いが、小学校併設のわくわくプラザの利用は高学年になると行かなくなりこどもたちだけで遊ぶことが増える。</p> <p>上記のような状況から、課題として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談ができるような地域コミュニティの関係構築 ・こどもたちが地域の中で日中困ったときに相談できる大人の存在の確保 <p>があげられる。</p>
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の地域交流スペースを使用し、学習支援や余暇活動、食事や会話などを通じて、地域の中で子育てに困難を抱えている家庭、協力を得られない孤立した家庭、そしてこどもたちが、地域の人々とのつながりを持ち安心してすごせる場所を提供する。 ・多世代のボランティアが関わりながら、こどもたちの学びや体験機会の獲得に寄与する。

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>○対象児童 宮崎小学校ほか近隣地域の小学校に通う小 1～小 6 の児童</p> <p>○実施日時 毎週木曜日 15:30～20:00</p> <p>○実施内容</p> <p>【1日の流れ】</p> <p>15:00～ 会場準備</p> <p>15:30～ 順次下校後の児童入室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習 スタッフ付き添いのもと宿題等を可能な限りマンツーマン体制で行う。こども一人ひとりの習熟度・得手不得手・特性などに応じて教材を提供していく。 ・余暇活動 <p>① 室内 (卓球、トランプなどカードゲーム、将棋・オセロなどボードゲーム、折り紙、お絵かき、工作など)</p> <p>② 外出 (近隣地域の散策、公園でキャッチボール・サッカー・鬼ごっこなどの外遊び)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品の買い物や調理補助などの簡単なお手伝い体験 <p>※ひとり帰り児童の利用は 18 時まで</p> <p>18:00～ 夕食 ※こどもは無料。希望する保護者も 300 円で食べることができる</p> <p>食後、引き続き余暇活動。順次保護者のお迎えが来て帰宅。</p> <p>19:40～ 会場片付け開始 保護者迎えが難しく自宅まで送りが必要な児童はスタッフや民生委員らと共に出発。</p> <p>20:00 閉室</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>6 歳～12 歳 (小学生)</p>	<p>定員 (1 回あたり)</p>	<p>10 名</p>
<p>実施頻度</p>	<p>週 1 回 (毎週木曜)</p>	<p>活動日数 (年間)</p>	<p>44 日</p>

<p>スタッフ体制</p>	<p>常勤職員 1名 有償ボランティア 5名 （生活学習スタッフ3名 / 調理スタッフ2名） ※地域ボランティア 登録11名（令和5年3月現在） 月ごとのシフト制</p>
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>○宮崎小学校、他周辺の小学校（児童の情報共有・保護者への広報） ○こどものいえもも保育園（広報） ○宮前区社会福祉協議会（広報） ○民生委員児童委員（情報共有・保護者への広報・児童の帰宅時の付き添い）</p>
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>【こども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代のボランティアスタッフと関わる中で様々な話題が広がり、生活の知恵・社会的知識・語彙の獲得ができています。 ・広場で好きなことをしてのびのびと過ごせること、大人に話を聞いてもらえることで内心抱えているものを発散することが出来ています。 ・宿題等は、スタッフからの促しもあり、各々決まったタイミングで遊びの時間とめりはりをつけて学習に取り組んでいる。 ・旬の食材を意識した献立で季節を感じられている。 ・苦手な食材やこれまで食べたことのない食材にも無理のない範囲でチャレンジすることができている。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「週1回でも早い時間に夕食を食べさせてもらえるので助かる」「こどもが毎週楽しみにしている」などの声も聞かれ、こどもが参加出来ていることに満足感を得られている。 ・お迎え時にボランティアスタッフとも顔を合わせることで、安心感につながっている。 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちと関わることで地域スタッフ自身の活力につながっている。 ・こどもたちが手作りの食事を食べてくれることが喜びになっている。